

ふれあい

2021

6

No.411

牛久愛和総合病院 広報誌



「神経疾患の医療のため、故郷に戻ってきました」

神経内科部長

中嶋秀樹



2021年4月、牛久愛和総合病院神経内科部長を拝命いたしました。責任の重さを感じるとともに、今後いろいろとチャレンジしたいことにワクワクしつつ、30年ぶりに故郷に戻ってきたことに感動する日々です。

牛久で生まれ、18歳まで牛久で育ちました。人口3万人の町があつという間に開拓され、ベッドタウンとして都心からの転入者であふれ、激動の時代でした。牛久を離れた後、商社、保健所勤務を経て、医師を志しました。長崎大学を卒業後は医局人事で様々な病院に赴任し神経内科学を学びました。パーキンソン病の表情認識に関する臨床研究で博士号を取得後、脳卒中、三次救急医療を行い、震災後、福島における医療支援にも従事しました。その後は臨床、教育、

しました。責任の重さを感じるとともに、今後いろいろとチャレンジしたいことにワクワクしつつ、30年ぶりに故郷に戻ってきたことに感動する日々です。

当院での目標は、全国的にも医師不足が深刻な地域であることも鑑み、神経疾患診療の質が少しでも上がるよう臨床面で最善を尽くしたいと思います。

さらに牛久の医療圈における神経疾患の特徴を把握し、考察し、「牛久愛和発」のアピールを行ない、地域の患者さんやそのご家族さんにもファイードバックします。普及啓発できればと考えております。神経疾患は「治りにくいけれど…」と思われがちですが、いろいろな考え方、取り組み方ができる分野でもあります。当院での特徴は急性期、地域包括、障害者および療養病棟がある神経内科医としては申し分のない環境がそろつており、

そして神経免疫学に関する研究を行っておりました。大学病院時代に卒前・卒後教育に力を入れ、入局者が増えたことが嬉しかったです。医局長を終えた後、順天堂大学アトピー疾患研究センターにボスドクとして赴任しました。

そのためには多職種での連携が最も重要と考えておりますので、関係部署のみなさま方、忌憚ないご意見をお待ちしております。



ここが知りたい！ Q&Aコーナー

◎嚥下相談はどこですればいいのでしょうか？

この度は、ご質問いただ
きありがとうございます。

嚥下とは、食べ物を口に
取り込み胃に送るまでの一
連の過程を指します。日々
の食事には欠かせないもの
です。しかし、疾患や加齢、
口の中の環境により嚥下の
状況は変化し、うまく飲み
込めない・嚥めない、飲み
込むときにむせてしまうな
どの状態を引き起こすこと
があります。この状態を、
嚥下障害といいます。嚥下
障害は、誤嚥性肺炎や低栄
養、脱水、窒息などを引き
起こす場合があります。
そのような状態の予防・軽
減にむけた相談窓口として
看護専門外来をご活用くだ
さい。

毎月第一月曜日9時～00時
12時～00時～15時～00時で
看護専門外来を実施してお
ります。ご予約は、看護相
談窓口にお問い合わせいたし
ます。

(撮影・嚥下障害看護
認定看護師 橋本由美)

また、当院の看護専門外
来は、日本看護協会が認定
する認定看護師と専門的知
識を用いたスタッフが対応
しております。当院では5
分野（摂食嚥下障害看護、
脳卒中看護、皮膚・排泄ケ
ア看護、がん化学療法看護、
透析看護）の認定看護師
と感染制御実践看護師が活
動をしております。食べる
ときにもむせる、食事に時間
かかるようになつた、硬
いものが食べにくい、食事
の量が減つてきた等の嚥下
の相談以外にも、脳卒中の
予防、感染症の予防、抗が
ん剤の治療、ストーマの管
理や床ずれの予防、透析療
法についての相談も承つて
おります。

日々の生活の中でお困り
のことがありましたら是非、
看護専門外来をご活用く
ださい。

皆様からの相談をお待ち
しております。

■感謝の声

■看護部 佐野 真理恵

今年は早めの梅雨入りとな
りました。新型コロナウイル
スのワクチン接種が開始され
ていますが、まだすべての人
に行き渡るまでに時間がかか
ります。最近、運動不足の人
が新型コロナウイルスに感染
すると重症化しやすく、死亡
リスクも高いことが大規模な
研究で明らかになりました。
これまで高齢、男性、糖尿病、
肥満、心血管疾患などの基礎
疾患があることなどが、主な
危険因子として知られてきま
したが、運動不足はこれらと
比較してもリスクが高く、入
院が必要となつた割合が2・
26倍、死亡リスクが2・49倍
と上昇していました。また、
糖尿病の血糖コントロールが
悪いほど、重症化や死亡リス
クが高いことも分かつており、
一方で、感染の流行に伴い、
行動変容を強いられ、外出自
粛やリモートワークの影響で、
運動不足に陥っている現状が
あります。

■人事部 折原 智希

5月16日付

あります。こうした中でもい
まいちど感染対策をしつかり
行つた上でウォーキングをし
たり、室内での運動を取り入
れるなど、運動を習慣として
続けることが、個人がこの感
染症から身を守るためにでき
ます。

■春秋園 介護福祉士 菅野 孝之

5月16日付

病院内で働けることを誇り
に思い、1日でも早く皆様の
お役に立てるよう努めて参
ります。

■ケアサービス部 利用者様の立場に立ちなが
ら、寄り添えるようなケアを、
常に心掛けていきたいと思
います。

D-Mカフエ

糖尿病・代謝内科 尾本 美代子

入職者



■春秋園 介護福祉士 菅野 孝之

5月16日付

感謝の心を持ち、自己研鑽
に励むことで、患者さんに満
足していただける看護を目指
します。

■ケアサービス部 利用者様の立場に立ちなが
ら、寄り添えるようなケアを、
常に心掛けていきたいと思
います。

■看護部 佐野 真理恵

5月16日付

あります。こうした中でもい
まいちど感染対策をしつかり
行つた上でウォーキングをし
たり、室内での運動を取り入
れるなど、運動を習慣として
続けることが、個人がこの感
染症から身を守るためにでき
ます。



春秋園だより

術を学んでいきます。

春秋園では、今年度7名の新入仲間を迎えました。

新人介護職員の最初の仕事は、高齢者や介護の基本を学ぶことです。全18項目の研修が、約一週間かけて行われました。

研修は、利用者様の自立支援の要である「高齢者の権利擁護」から始まりました。そ

れで、利用者体験研修も行なわれました。体験後は「忙しそうだと声をかけづらかった」など様々な意見がでました。この研修で感じたことは、これから業務にきっと役立つことだと思います。

その後、新入たちは各フロアに配属され、先輩の指導のもと、業務を覚えていき、徐々に独り立ちしていきます。

この記事が出るころには新入たちも一人で任されているのも増え、日々成長しているのではないか。私たちも初心を思い出し、ついつい一緒にがんばっていきたいと思っています。(春秋園 教育委員会)

部署紹介

臨床工学科

臨床工学科 副科長 手塚 健介

研修医 妹尾 彩花

Dr.趣味リレー

最近はボードゲームをよくやります。

その中で私がハマっているジャンルの1つ、ちょっと殺伐とした「マーダーミステリー」を紹介しようかと思います。

これは殺人事件を題材にした推理ゲームで、自分自身が「推理小説の登場人物になれる」ゲームなんですね。

参加者は登場人物内1人の性格や事件前後の行動が記されている設定書を配布され、その設定書をもとに振る舞い、事件の真相を解き明かすことに挑戦します。

そして、殺人事件ですから、事件の犯人役を引き当てることも。犯人役になれば、真相がバレないよう嘘つき、追及を逃れる必要があります。

証言や現場の証拠からの推理も、また犯人になった時のスリルも刺激的で、物語への没入感が非常に癖になるゲームです。

その他の業務としては、院内の医療機器の保守・点検があります。患者さんが使用される点滴の機械や人工呼吸器などを安全・安心に使用できるように日々機器の点検を行なっています。

まだまだ認知度の低い職種ですが、少しでも皆さんに覚えていただければ幸いです。

この記事が出るころには新入たちも一人で任されているのも増え、日々成長しているのではないか。私たちも初心を思い出し、ついつい一緒にがんばっていきたいと思ひます。

**編集だより**

紫陽花の輝く美しい季節になりましたね。

体調管理には十分気を付けて、梅雨ならではの楽しみを見つけ、元気に乗り切っていきましょう。

(Y・A)



4/30

な引き、リレーをやりました。
最後は鯉のぼりぐりです。

四月三十日（金）子どもの日集会として、園庭で小運動会を行いました。全員が整列すると年長児が自分で作った鯉のぼりを掲げ、走って入場です。風を受けた鯉のぼりは、元気に泳いでいました。

始めにかけっこです。名前を呼ばると「はい!!」と元気に返事をしてスタートです。抜かされないように手を大きくふって走っていました。その後、わらべ歌、玉入れ、つ

の成長を願い、柏もちを食べました。（保育課係長 榊原）

笑顔でした。

『出来事ピックアップ』**病院理念**

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床（一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床）

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

関連施設

- | | |
|--------------------|------------------|
| 総合健診センター | Tel 029-873-4334 |
| 健康増進施設 スポーツリラックス | Tel 029-874-8791 |
| 人工透析センター | |
| 地域リハ・ステーション | |
| 介護老人保健施設 春秋園 | Tel 029-870-3100 |
| ひたち野ステーションクリニック | Tel 029-896-6200 |
| 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 | Tel 029-817-5111 |

診療科目**【一般外来】**

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内 科（禁煙外来）
整形外科（股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節）
小 児 科（小児循環器、小児心理、小児免疫）
皮 膚 科（レーザー外来）
外 科（下肢静脈瘤外来）
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査（乳がん検診）

